

発生動向の概況

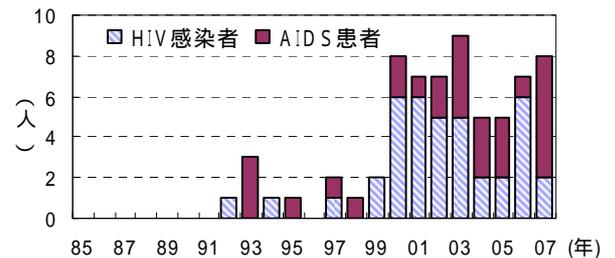
RS ウイルス感染症は今治地区で散発が続いています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が今治地区及び中予で増加傾向です。この疾患は年間を通じて患者がみられますが、特に春から初夏、秋から冬にかけて患者発生が多くなります。症状は発熱と全身倦怠感、咽頭痛などで、しばしば嘔吐を伴います。うがい等の感染予防を励行してください。

手足口病は9月下旬から中予で増加傾向です。流行性耳下腺炎はやや減少していますが、依然八幡浜地区の発生が続いています。

麻しん(はしか)は『愛媛県麻しん(はしか)全数把握調査』によると、9月後半に八幡浜地区で10歳代を中心に患者が発生した後、10月に入って宇和島地区で10歳代を中心に患者が発生しています。また、松山市では成人を中心に散発の状態が続いています。麻しんの症状がある方は、あらかじめ医療機関に電話連絡のうえ、受診してください。定期予防接種の接種時期に達したお子さんは速やかに予防接種を受けましょう。

後天性免疫不全症候群の届出がありました。全国的に感染者が増加しており、県内でも平成19年の累計報告数が8人と、すでに昨年の報告数を越えました(右図参照)。詳細は次ページに掲載しました。

愛媛県におけるHIV感染者及びAIDS患者の年次推移



* 2007年は10月14日現在報告数

県内での感染症発生状況

全数把握感染症(結核は除く)

三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 3例(全てO157)

五類感染症: アメーバ赤痢 1例

クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(遺伝性)

後天性免疫不全症候群 1例(AIDS)...平成19年 累計8例

50歳代男性、推定感染経路:不明、推定感染地域:国内

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

	愛媛県推移	県内の傾向
RS ウイルス感染症	↗ 0.1	今治地区の発生が続いている。他地区は散発程度の発生。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 1.2	今治地区及び中予を中心に増加してきた。
手足口病	↗ 0.8	9月下旬から、中予で増加傾向。
流行性耳下腺炎	↘ 0.4	やや減少してきたが、八幡浜地区の発生が続いている。

解析評価委員のコメントから

RS ウイルス感染症: 今治市でみられています。(東予)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 西条、新居浜市は少ないですが、今治市で増えています。(東予)

特定の保育所や幼稚園で多発しているところもあるようです。(中予)

手足口病: 極わずかですが増えています。しかし全体数は少なく、流行している状態ではありません。(中予)

宇和島では一時発生していましたが、現在では落ち着いています。(南予)

百日咳: 宇和島地区で発生しています。爆発的な発生ではないのですが、頑固な咳が続くケースが時々あります。調べてみると抗体価が高値を示します。(南予)

過去30週の動向 (↗: 過去30週の動向、↖: 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

後天性免疫不全症候群（エイズ AIDS）が増加中！

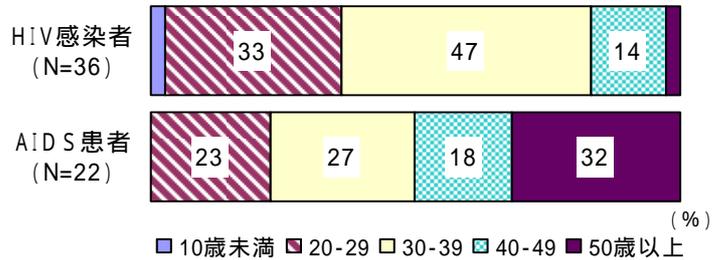
平成 19 年 10 月 17 日現在

全国の HIV 感染者及び AIDS 患者の年間報告数は増加しています。県内では 92 年に初めて届出されてから 99 年までは毎年 1～2 人程度で推移していましたが、その後は年間 5～9 人と届出数の多い状態が続いています。99 年 4 月感染症法施行後に届出があった 58 人のうち、20～30 歳代の男性で同性間性的接触による感染者が 24 人と全体の 41% を占めています。また、右図に示すように、年齢が高い人は診断時、すでにエイズを発症している率が高く、受診の遅れが推察されます。

エイズは早期に発見し、治療を開始すれば発症を遅らせることが可能です。エイズについて不安や疑問をお持ちの方は、保健所に相談窓口を設置していますのでご利用ください。また HIV 抗体検査は無料・匿名で実施しています。

愛媛の HIV 感染者と AIDS 患者の年齢構成

(1999.4.1～2007.10.14)



病原体検出情報

気温の変化が大きい季節となり、気道感染症が増加したためか、上気道炎(溶レン感染症含む)・下気道炎(気管支炎)・熱性疾患等の検体が増加してきました。

宇和島地区で散発的に発生していた百日咳について、臨床的に診断された症例検体 8 例の検査(PCR 法)の結果、第 39 週の 5 例および 40 週の 2 例から、百日咳菌の遺伝子が検出されました。なお、培養検査では、百日咳菌は分離されませんでした。

手足口病の検体(西条地区)、ヘルパンギーナの検体(四国中央地区)は引き続き検査中です。また、下気道炎等からのエンテロ様ウイルス 2 株を同定中です。

感染性胃腸炎患者の増加の兆しはまだ見えず、定点からの検体は非常に少ない状況です。

過去 5 週 検出病原体

(9月17日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
38	9/17～9/23	松山市	下気道炎	アデノ 6	咽頭ぬぐい液	1
39	9/24～9/30	松山市	溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
		宇和島市	百日咳	百日咳菌(遺伝子検査)	鼻咽頭ぬぐい液	5
40	10/1～10/7	松山市	不明熱	単純ヘルペス 1	咽頭ぬぐい液	1
		宇和島市	百日咳	百日咳菌(遺伝子検査)	鼻咽頭ぬぐい液	2

月別病原体検出結果

検出病原体	2007						合計	
	5	6	7	8	9	10		
ウイルス	検体採取月							
	コクサッキーA2				1			1
	コクサッキーA5		1	4				5
	コクサッキーA6		1	2	2			5
	コクサッキーA9			3	1			4
	コクサッキーA10				1			1
	コクサッキーA16				2			2
	コクサッキーB4			1				1
	エコー 18			1				1
	エンテロ 71					1		1
	インフルAソ連	2	1					3
	インフルA香港	1	1					2
	インフルB	1	1					2
	パラインフル3		1	1				2
	ムンプス			3	1			4
	ロタ	3	1					4
	アストロ	3						3
	ノロ	3	1	4				8
	サボ	7	5	3				15
アデノ	1	1		2			4	
アデノ 1	2			1			3	
アデノ 2	1	5	1	2			9	
アデノ 6					1		1	
単純ヘルペス 1	1					1	2	
ウイルス計	25	19	23	13	2	1	83	
細菌	下痢原性大腸菌	1						1
	サルモネラ O4	1			1			2
	サルモネラ O7	1						1
	サルモネラ O9				1			1
	カンピロバクター	3		2				5
	百日咳菌					5	2	7
	A群溶レン菌	3	3	1	1	1		9
	G群溶レン菌				1			1
細菌計	9	3	3	4	6	2	27	

臨床診断名別検出結果 (2007年8月以降採取検体)

検出病原体	溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	手足口病	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	下気道炎	上気道炎	不明熱	発疹症・不明発疹	その他	合計
コクサッキーA2					1							1
コクサッキーA6					1				1			2
コクサッキーA9			1									1
コクサッキーA10					1							1
コクサッキーA16			1								1	2
エンテロ 71			1									1
ムンプス						1						1
アデノ		2										2
アデノ 1									1			1
アデノ 2								1		1		2
アデノ 6							1					1
単純ヘルペス 1									1			1
ウイルス計		2	3		3	1	1	1	3	1	1	16
サルモネラ O4		1										1
サルモネラ O9		1										1
百日咳菌					7							7
A群溶レン菌	2											2
G群溶レン菌	1											1
細菌計	3	2			7							12

愛媛県 定点把握五類感染症 2007年 第40週 (2007.10.1～10.7)

患者報告数	インフルエンザ ¹⁾	小児科定点											眼科定点		基幹定点						
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん ²⁾	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 ³⁾	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 ⁴⁾	成人麻しん
四国中央					11	1		2					1	-	-			1			四国中央
西条				8	31	7	4	1	9				1		2						西条
今治	5			8	7	10			7				5		4			1			今治
松山市	2	3		15	72	2	11		16				16	1	1	22	-	-	-	-	松山市
松山				5	14	5	8		9				6								松山
八幡浜					10	1			4						14			1		1	八幡浜
宇和島	1				1	5	9		3	3				1							宇和島
愛媛県	8	3		36	146	31	32	1	50	3		28	1	17	30			3		1	愛媛県
1週前	5	10		22	116	24	23	3	40	1		32		7	17			2			1週前
2週前	4	9		18	117	23	9	11	44	1		38		23	22					2	2週前
3週前	7	2		19	110	20	17	4	50	3		34		18	20						3週前
0-5ヶ月	1				2	1			2												0
6-11ヶ月	3				11	2	3		27				1								1-4
1	1			1	23	12	13		21					1	4					2	5-9
2	1	1		2	14	4	8	1						1							10-14
3	1			1	13	4	5							2	1						15-19
4				6	12	2	1							3						1	20-24
5	1	1		6	19	2	1							2	1						25-29
6				3	13	3				1				5	1						30-34
7				6	7									3							35-39
8		1		3	8					1					1						40-44
9				3	9		1														45-49
10-14				4	10	1				1					2						50-54
15-19					2																55-59
20-29 ⁵⁾				1	3										5						60-64
30-39															5						65-69
40-49															3						70-
50-59															3						
60-69															3						
70-79 ⁶⁾															1						
80-																					

定点当たり報告数

四国中央				3.7	.3		.7						.3	-	-			1.0			四国中央
西条				1.3	5.2	1.2	.7	.2	1.5				.2		2.0						西条
今治	1.0			1.6	1.4	2.0			1.4				1.0		4.0			1.0			今治
松山市	.2	.3		1.4	6.5	.2	1.0		1.5			.1	.1		7.3	-	-	-	-	-	松山市
松山				1.3	3.5	1.3	2.0		2.3				1.5								松山
八幡浜					2.5	.3			1.0					3.5	2.0			1.0		1.0	八幡浜
宇和島	.3				.3	1.3	2.3	.8	.8					.3							宇和島
愛媛県	.2	.1	1.0	3.9	.8	.9	.0	1.4	.1		.8	.0	.5		3.8			.5		.2	愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	1

注) 表中の報告数は10月10日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第39、40週 (2007.9.24 ~ 10.7)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん ²⁾	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 ³⁾	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 ⁴⁾	成人麻しん	
39週	愛媛県	.1	.3	.6	3.1	.6	.6	.1	1.1	.0	.9	.2	.2	2.1	.3							
	近畿県	香川県	.3	.8	.1	.4	2.6	.1	.1	.2	.8	.0	.7	.1	.3							
		徳島県		.7		.5	2.0	.3	.0	.3	.4	.0	.3	.2								
		高知県			.9	.2	1.8	.4	.7	.3	.3		.4	.0	1.5	2.0			.1			
	全 国	.1	.1	.2	.7	2.8	.4	.7	.1	.7	.0	.0	.8	.0	.3	.0	.6	.0	.1	.3	.0	.0
	北海道		.1	.1	1.2	1.1	.4	.7	.1	.4	.0	.0	1.7	.0	.2	.0	.3	.0	.0	.2		
	東北	.0	.2	.2	.7	1.7	.5	1.8	.2	.6	.0	.0	1.7	.0	.4	.0	.2	.0	.6	.0		
	関東	.0	.0	.1	.8	2.7	.3	.7	.1	.8	.0	.0	.6	.0	.2	.0	.9	.1	.3	.1	.0	
	甲信越北陸	.0	.0	.3	.7	2.5	.7	.6	.3	.6	.0	.0	1.3		.4		.3	.1	.0	.5	.1	
	東海	.0	.1	.1	.7	2.9	.3	.4	.1	.7	.0	.0	.9	.0	.2		.3		.3	.1		
近畿	.0	.1	.2	.7	3.1	.3	.3	.1	.7	.0	.0	.3	.0	.2		.3	.0	.1	.1			
中国四国	.0	.2	.3	.6	3.5	.5	.4	.1	.7	.0	.0	.5	.0	.3		1.0	.0	.1	.1			
九州沖縄	.5	.4	.2	.6	3.7	.5	1.0	.1	.9	.0	.0	.5	.0	.4		.8	.0	.0	.3		.0	

(2007.10.4集計)

40週	愛媛県	.2	.1	1.0	3.9	.8	.9	.0	1.4	.1	.8	.0	.5	3.8	.5					.2		
	近畿県	香川県	.0	1.1	.0	.3	2.0	.2	.1	.2	.6	.6	.2	.2	.3	.3						
		徳島県		.8		.5	1.3	.1		.1	.5		.3	.3								
		高知県		.0	.6	.5	1.4	.4	.7	.2	.6		.6	.8	1.0				.4			
	全 国	.1	.2	.1	1.0	3.2	.4	.7	.1	.7	.0	.0	.6	.0	.3	.0	.6	.0	.1	.4	.0	.0
	北海道		.1	.1	1.7	1.4	.7	1.0	.2	.5	.0	.0	1.3	.0	.1	.3			.6			
	東北	.0	.2	.1	1.0	2.1	.5	1.9	.3	.6	.0	.0	1.1	.0	.4	.1	.4		.7	.1	.0	
	関東	.0	.1	.1	1.2	3.1	.3	.5	.1	.8	.0	.0	.5	.0	.3	.0	.9	.1	.2	.3	.1	.0
	甲信越北陸	.0	.0	.2	.9	2.7	.5	.4	.3	.6	.0	.0	.7		.4	.0	.2		.0	.3	.2	
	東海	.1	.1	.1	.7	3.0	.2	.4	.1	.7	.0	.0	.6		.2		.2		.0	.5	.1	
近畿		.2	.1	.8	3.3	.3	.3	.1	.7	.0	.0	.3	.0	.3	.0	.2	.0	.1	.2	.0		
中国四国	.0	.3	.2	.8	3.7	.4	.4	.1	.8	.0	.0	.4	.0	.3		1.0	.0	.1	.3		.0	
九州沖縄	.5	.3	.2	.7	4.3	.4	1.2	.1	.9	.0	.0	.4	.1	.5	.0	1.0	.1	.0	.2			

(2007.10.11集計)

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。

全国 全数把握感染症 第39、40週 (2007.9.24 ~ 10.7)

類 型		二類	三類感染症					四類感染症													五類感染症																				
疾病名		(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ポツリヌス症	(33) マラリア	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) ドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症			
第39・40週報告数	全 国	412		15	317	3	2	1	2			1		1	3	3	2					2	29	1	12	3	1		4	3	28	2			18	4		3			
	四 国	愛 媛 県	6			3											1																								
		香 川 県																																							
		徳 島 県	3			1																																			
		高 知 県	4																																						
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	6			2																	2			1				1	1										
		東 北 道	27		1	111																		3		1					1	1					1			1	
		関 東 圏	98		6	70	1						1		1	1								9		6	2			3	1	14	1			9	1			2	
		甲信越北陸	28		1	7			1															3		1															
		東 海 圏	53		3	27	1			1														8		1						3				3					
近 畿 圏		59		3	53	1	1		1														3				1			5	1				1						
中国四国		60			22											1							3			1										1					
九州沖縄		81		1	25		1										2	2						1	2						4				4	2					
週 推 移	全 国	40週	227		7	212	3		2					1								1	11		4	2			2	1	12	1			10	2		3			
	39週	185		8	105		2	1				1		1	2	3	2					1	18	1	8	1	1		2	2	16	1			8	2					
	38週	173		3	94	4		2							9	3					1	9		5	1				1	22	1			9	1			1			
	37週	241		12	142	2	1	2							5	2					3	13	2	8	5	3		3		9		1		8	1			1			
2007年累積数	全 国	10642	10	391	3647	37	15	44	121	13	25	4	3	98	72	55	3	1		2	38	10	486	19	596	176	178	6	112	79	1109	39	13		532	73		58			
	四 国	愛 媛 県	180		3	23				1	1						3						6		3	1	1		6	1	7				6						
		香 川 県	72		1	10				1			3										2		1	2	1		1	1	3				4						
		徳 島 県	104		1	17											1							2			3			1	3	1			1			1			
		高 知 県	92			6				1															1	5			5	1	5		1		3	1					
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	359		6	66	1		9	6	10	1									1	3	21		17	5	5		2	6	16				10	4		1			
		東 北 道	659	2	19	362	3	3	3	12		5			40	1							2		34		34	9	10		3	6	32		2	23	6		4		
		関 東 圏	2650	5	190	979	14	7	8	38	3	8	1	3	9	38	1					24	5	146	5	257	48	57	2	34	26	553	23	4	206	22		30			
		甲信越北陸	682		14	318	2	1	2	6					9	1						1		50	1	25	10	12	2	8	5	25	2		18	5		4			
		東 海 圏	1611		58	257	4		14	14		3			4	6	7					1	1	75	1	63	11	6		11	7	163	3	1	87	5		10			
近 畿 圏		1848	3	66	743	12	3	3	21		5			10	17	12		1			9		69		133	45	46		23	7	199	9	2	45	7		6				
中国四国	1212		28	275			3	10		2	3		6	2	15	1				2		48		23	36	13	1	19	13	47	2	1	36	2		2					
九州沖縄	1621		10	647	1	1	2	14		1			20	7	20	2						1	43	12	44	12	29	1	12	9	74		3	107	22		1				

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

(2007.10.11集計)